

亀山山頂アクセスについて

1 経過

- (1) 昭和42年亀山リフト開業（全長903m, 片道12分）
最盛時（昭和53年度）約126,000人／年, 平成22年度約23,000人／年利用
平成5年度以降赤字, 平成18～22年度の5年間で平均約3,200万円／年の赤字
- (2) 赤字の原因は, レジャーの多様化等による観光客減, 登りは眺望が乏しい。
気候・天候に左右され, 平成18～22年度平均稼働は約186日／年など。
- (3) 東日本大震災で, ふもとは津波, レストハウス下は火災→全線撤去, 路線下の
借用地（地権者11人）は返却
- (4) 企業会計（索道）は, 災害復旧の対象とならないと政府の見解→要望継続
平成29年5月 橘復興副大臣 亀山視察
平成29年9月 吉野復興大臣 亀山視察, 加藤復興事務次官同行
大臣から事務次官に検討指示→見解変わらず
- (5) 平成31年4月7日大島架橋開通, 暫定手段として中腹駐車場普通車60台・バス2
台整備（現在：普通車45台・バス2台）
 - ・レストハウスまでのシャトルバス運行, ほとんどが中腹駐車場からの利用。
田尻駐車場からの利用は数える程度（現在廃止）
 - ・渋滞対策協力金（現在は駐車料金）を差し引いても令和元年度約4,030万円,
令和2年度約2,140万円の経費負担あり（誘導員等経費大）

2 現時点での検討内容（全て流動的であり, 現時点で決定事項はないが, 令和3年 度内方針決定を目指す）

- (1) 中腹駐車場からの乗物によるアクセスが現実的
 - ・ほぼ全ての観光客は車で大島に渡る。なるべく高所まで車で行こうとする。
 - ・中腹駐車場は拡張可能性あり（計76台）。現状45台に31台分を拡張
 - ・アクセス距離短く（約430m, 展望台付近まで）, 整備費が抑えられる。
 - ・ふもとからは距離が長く, 整備費増大, 時間が掛かるので, 乗物の車両等の必要数大, 加えて広大な駐車場が必要。市はふもとに有効な土地を持っておらず
整備費も必要。路線下を再度借用等必要
- (2) 山頂展望台近くまでのアクセスとレストハウス活用という相反する課題の解
決が必要
- (3) モノレール（単線）が有力
 - ・これまで, ペアリフト, ゴンドラ, オートレーンなど業者の視察も含め検討し
てきたが, 整備費, 採算可能性の面で残った手段（途中駅を設置上記(2)にも

対応)。途中で市道との立体交差が比較的容易

(4) 公設民営が基本

- ・民設民営は投資に見合う収益は見通せず可能性極小。公設とし柔軟かつ効率的な運営が可能な民営が適切。レストハウスやその他のアクティビティ等の開発も一体的に民間に委ねることも期待

(5) 公設財源

- ・地方創生拠点整備交付金（補助率1/2）を検討
ただし、建築物を基本対象としており、それ以外の場合は十分な論拠が必要、復興庁指導を仰いでいる。残りは過疎債などを検討
- ・再度、復興事業としての取組の可能性追求→復興庁
災害復旧の対象とならず、一方で民間企業が利用してきたグループ補助の対象にもならないという矛盾が存在

(6) 今後の進め方

- ・現在、コンサルが策定中の採算可能モデルを提示した上で公募により広くサウンディング調査（※）を行い、本事業の市場性や事業内容のアイデア等に関する意見・提案を求める。
- ・類似のアクセスを公設民営で設置している事例についてヒアリング調査を行い、採算性等について整理する。
- ・上記の2つの調査結果をもとに本事業の採算性について精査し、事業者の選定方法についても検討する。
- ・事業者について地元の候補者が選定された場合、事業体への市の参画を検討
- ・方向性がより明確になった段階で議会、市民への説明

(7) その他

- ・アクセス手段に関し、各種乗物製造業者から新提案の可能性
- ・採算可能モデル作成が困難となることも考えられる。モノレール単線は整備費が抑えられるが輸送量にも限界。また、今夏のウィークデーに試行した市独自のマイクロバス運行では利用者が不十分
- ・景観だけでは将来に亘る安定経営には不安。アクティビティや散策、信仰等のコンテンツの付加は必須。市としては段階的整備を目指す、アクセス事業者の事業提案も歓迎
- ・サウンディング調査や事業者公募に民間事業者が参入しないことも懸念される。

※サウンディング調査

市有地などの活用について、事業検討の段階で、公募による「対話」を通じて事業者や市場の動向を調査する。行政側は事業の実現可能性や、市場として参入しやすい条件、活用に向けたアイデアなどを把握でき、また事業者側は行政の運営方針や考え方を事前に確認できるほか、事業者としての考え方を直接伝えることができるなどの利点がある。